

## 一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党  
鈴鹿市議団

野間 芳実 議員

### 末松市長がめざす「笑顔あふれる鈴鹿の未来づくり」について

**(質問)** 末松市長のこれまでの2期8年間の実績を踏まえ、市長の今後の市政運営に対する思いについて尋ねる。

**(答弁)** 2期目の市政運営に当たっては、鈴鹿市総合計画2023に、中長期的な視点から施

策などを掲げ、市政を前進させることに取り組んできた。今後は、後期基本計画の策定を進めていく過程において、各地区における地域づくりの取り組みを支援するとともに、行政力のさらなる向上を図り、一体感を持って施策などを推進していく。本市を取り巻く課題に対して、2期8年間の実績を生かし、次期の4年間においても、未来の鈴鹿市が笑顔あふれる都市であり続けるために、市政の一層の向上が図られるよう、全身全霊で取り組んでいきたいと考える。

公明党

藤浪 清司 議員

### 障がい者雇用について

**(質問)** 本年4月から障がい者の法定雇用率が引き上げられ、対象事業主の範囲も広がった。本市の法定雇用率は達成しており「就労マルシェ」などで障がい者雇用に取り組んでいる。一方、残念なことに中央省庁や三重県教育委員会で障がい者雇用数の水増しが判明した。障がい者雇用の取り組みと効果、市の

雇用実態チェック体制について尋ねる。

**(答弁)** 本市の独自政策として、農作業実習体験を行う「農福連携事業」、「障害者等職場体験実習費助成金交付制度」、「就労マルシェ」がある。農福連携事業では1人、職場体験実習では6人が一般就労につながり、就労マルシェの過去5回の集団面接会では、延べ607人が面接し、63人が内定を受けた。本市の職員雇用については、労働局のチェックシート内容を確認し、障害者手帳などの所持の確認を行っている。

リベラル鈴鹿

中村 浩 議員

### 学習能力について

**(質問)** みえスタディ・チェックの結果を見ると、鈴鹿市は県平均と比べて低いのが、現状をどのように捉えているのか。また、県内での順位および何が足りないのかを問う。

**(答弁)** みえスタディ・チェックの結果から、各学校が子どもたちの強み・弱みを分析し、課題の解消に向けて今後の授業改善に学校全

体で組織的に取り組むことが重要であると考え。県内の順位については、序列化や過度な競争を目的としているものではなく、子どもたちの学習内容の定着状況の把握や教員の授業改善などが目的であるため、公表されているのは県全体の状況のみであり、順位は提供されていない。子どもにとって分かりやすい授業を行うために、教員一人一人の授業力の向上、家庭学習の量と質の充実を図っていくことが必要であると考え。

その他の質問 ○地域づくり協議会について

新緑風会

宮本 正一 議員

### 鈴鹿市の人口と定住促進について

**(質問)** 人口減少は鈴鹿市の持続可能性に大きな影響を及ぼす課題である。定住人口確保に向けたさらなる取り組みの必要性を問う。

**(答弁)** 人口減少を意識し総合計画2023を策定。国立社会保障・人口問題研究所が行った2040年の将来推計人口は計画当初の188,440人から、さらに約24,000人減少し164,586人。

計画上の企業立地に伴う新規雇用者数は累計で611人。本年度は鈴鹿市移住促進パンフレット「鈴鹿暮らし」を首都圏、中部圏、関西圏での移住相談会や企業説明会、子育て支援イベントなどで活用している。現在は求職者有利の売り手市場の影響により、本市の就労や雇用支援事業の利用は減少傾向。平成30年度中に移住・定住に向けたワンストップ窓口の役割を果たす移住促進ポータルサイトを開設予定であり、子育て関連情報についてもインターネットなどを活用した情報発信の在り方を検討中である。